



平成 30 年 8 月 10 日

各 位

会 社 名 石 原 産 業 株 式 会 社
代表者名 代表取締役社長 田 中 健 一
コード番号 4028 東証第一部
問合せ先 常務執行役員財務本部長 川 添 泰 伸
(TEL. 06-6444-1850)

平成 31 年 3 月期第 2 四半期累計期間業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 30 年 6 月 2 日の決算発表時に公表した平成 31 年 3 月期第 2 四半期累計期間の業績予想について、下記のとおり修正しましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 31 年 3 月期第 2 四半期累計期間連結業績予想の修正（平成 30 年 4 月 1 日～平成 30 年 9 月 30 日）

	売 上 高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	百万円 53,000	百万円 △100	百万円 △700	百万円 △1,000	円 銭 △25.01
今 回 修 正 予 想 (B)	52,500	2,900	3,000	2,100	52.54
増 減 額 (B－A)	△500	3,000	3,700	3,100	
増 減 率 (%)	△0.9	—	—	—	
(ご参考)前期第 2 四半期累計期間実績	52,904	3,858	3,409	2,508	62.74

2. 修正の理由

当第 2 四半期累計期間の連結業績は、売上高は概ね前回発表予想通りに推移する一方、利益は前回発表予想を上回る見通しで、上表の通り連結業績予想を修正します。

有機化学事業の主力農薬では、流通在庫の影響などを受けて欧州での売上は前回発表予想を下回るものの、米州、アジアでの販売が好調に推移し、増益となる見通しです。また、無機化学事業では、チタン鉱石をはじめとした各種の原材料価格が軒並み上昇している中、前期の酸化チタンの輸出価格改定が先行するなど利益面で寄与する見通しです。この見通しの算出において前提としている第 2 四半期の主要通貨の想定為替レートは 110 円／米ドル、130 円／ユーロとしています。

なお、米国と中国の通商問題や世界的な異常気象が当社主力事業の今後の市場動向などに与える影響が懸念され、先行き事業環境の不透明さが増してきています。通期の業績予想につきましては、前回公表しました業績予想（連結・個別）を修正せずに据え置き、その他の業績動向も踏まえ第 2 四半期累計期間の業績発表時に改めて見直しを行う予定であります。

(注) 上記の業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上